



HLD5000 操作説明書

電源ON

- 1) プローブラインと電源コードを接続します。
- 2) HLD5000 本体の正面にある電源スイッチを押します。
- 3) 音が鳴り始め、30秒経ちましたら、測定可能です。

電源OFF

- 4) HLD5000の電源はいつでもOFFが可能です。全てのパラメータの記憶はいつ電源をOFFにしても保存されています。

校正チェックおよび機能

- 5) プローブチップをキャリブレーションポートに差し込み、“コウセイ OK” (“Calibration okay”) が表示されるまでお待ち下さい。新規校正が必要な場合は音がなりますので、その時は校正を行ってください。

校正

- 6) 校正を行うためには、プローブのボタンを押し、プローブチップをキャリブレーションポートに差し込みます。校正は自動に行われ、プローブのボタンは最初に1回押すだけで、押し続ける必要はございません。ディスプレイに“コウセイ ガ カンリョウシマシタ”(Successful completion) と表示されます。

パラメータ(Parameters)

- 7) パラメータの変換につきましては、取扱説明書の17ページから始める、3.4.機器の設定 (メニュー構造) をご覧下さい。

kima40jp-a (0309) ©09/2003



HLD5000 操作説明書

電源ON

- 1) プローブラインと電源コードを接続します。
- 2) HLD5000 本体の正面にある電源スイッチを押します。
- 3) 音が鳴り始め、30秒経ちましたら、測定可能です。

電源OFF

- 4) HLD5000の電源はいつでもOFFが可能です。全てのパラメータの記憶はいつ電源をOFFにしても保存されています。

校正チェックおよび機能

- 5) プローブチップをキャリブレーションポートに差し込み、“コウセイ OK” (“Calibration okay”) が表示されるまでお待ち下さい。新規校正が必要な場合は音がなりますので、その時は校正を行ってください。

校正

- 6) 校正を行うためには、プローブのボタンを押し、プローブチップをキャリブレーションポートに差し込みます。校正は自動に行われ、プローブのボタンは最初に1回押すだけで、押し続ける必要はございません。ディスプレイに“コウセイ ガ カンリョウシマシタ”(Successful completion) と表示されます。

パラメータ(Parameters)

- 7) パラメータの変換につきましては、取扱説明書の17ページから始める、3.4.機器の設定 (メニュー構造) をご覧下さい。

kima40jp-a (0309) ©09/2003



HLD5000 操作説明書

電源ON

- 1) プローブラインと電源コードを接続します。
- 2) HLD5000 本体の正面にある電源スイッチを押します。
- 3) 音が鳴り始め、30秒経ちましたら、測定可能です。

電源OFF

- 4) HLD5000の電源はいつでもOFFが可能です。全てのパラメータの記憶はいつ電源をOFFにしても保存されています。

校正チェックおよび機能

- 5) プローブチップをキャリブレーションポートに差し込み、“コウセイ OK” (“Calibration okay”) が表示されるまでお待ち下さい。新規校正が必要な場合は音がなりますので、その時は校正を行ってください。

校正

- 6) 校正を行うためには、プローブのボタンを押し、プローブチップをキャリブレーションポートに差し込みます。校正は自動に行われ、プローブのボタンは最初に1回押すだけで、押し続ける必要はございません。ディスプレイに“コウセイ ガ カンリョウシマシタ”(Successful completion) と表示されます。

パラメータ(Parameters)

- 7) パラメータの変換につきましては、取扱説明書の17ページから始める、3.4.機器の設定 (メニュー構造) をご覧下さい。

kima40jp-a (0309) ©09/2003



HLD5000 操作説明書

電源ON

- 1) プローブラインと電源コードを接続します。
- 2) HLD5000 本体の正面にある電源スイッチを押します。
- 3) 音が鳴り始め、30秒経ちましたら、測定可能です。

電源OFF

- 4) HLD5000の電源はいつでもOFFが可能です。全てのパラメータの記憶はいつ電源をOFFにしても保存されています。

校正チェックおよび機能

- 5) プローブチップをキャリブレーションポートに差し込み、“コウセイ OK” (“Calibration okay”) が表示されるまでお待ち下さい。新規校正が必要な場合は音がなりますので、その時は校正を行ってください。

校正

- 6) 校正を行うためには、プローブのボタンを押し、プローブチップをキャリブレーションポートに差し込みます。校正は自動に行われ、プローブのボタンは最初に1回押すだけで、押し続ける必要はございません。ディスプレイに“コウセイ ガ カンリョウシマシタ”(Successful completion) と表示されます。

パラメータ(Parameters)

- 7) パラメータの変換につきましては、取扱説明書の17ページから始める、3.4.機器の設定 (メニュー構造) をご覧下さい。

kima40jp-a (0309) ©09/2003